

予防医療教育プログラムの開発と評価に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2022年1月21日～2026年3月31日
研究課題	予防医療教育プログラムの開発と評価
研究の概要	<p>個人の行動変容を促す研究・実践プログラムの重要性は、近年世界的に注目されている。研究代表者である Y00 は、生活習慣における個人の行動変容を促す、新奇の健康教育プログラムを米国で開発した。この健康教育プログラムの特徴は、演劇の手法を取り入れていることである。本研究の目的は、Y00 が米国で開発した健康教育プログラムを、日本の文化に合わせて改善し、普及させることである。介入研究は、本学で 2022 年（1 月 31 日－2 月 10 日）に実施予定の講義(Health Education Theater)の履修学生のみを対象に実施する。</p> <p>目的及び意義：</p> <p>個人の行動変容を促す研究・実践プログラムの重要性は、近年世界的に注目されている。生活習慣の改善は、個人の健康状態の改善だけでなく、医療費の削減、労働生産性の向上にもつながる。4つの生活習慣（食生活、運動、喫煙、飲酒）を完璧に改善すれば、日米両国で総医療費の三分の一を削減できるという報告がある。それ故、近年米国では、生活習慣の改善を目指す予防医療教育プログラムは、医療保険給付の対象・雇用者への税控除の対象になることが契機になり、参加者が急増している。</p> <p>しかし、米国のみならず日本の生活習慣の改善を目指す予防医療教育プログラムは、依然として、低い参加率、参加後の高い脱落率、プログラムの効果が持続しない等の多くの問題を抱えている。</p> <p>これらの問題を解決する為、研究代表者である Y00 は、生活習慣における個人の行動変容を促す、新奇の健康教育プログラムを米国で開発した。この健康教育プログラムの特徴は、演劇の手法を取り入れていることである。このプログラムはパイロット的に、Y00 が勤務していたカリフォルニア大学デービス校で、正規の講義として 2019 年に実施された。このパイロット研究で対象にしたのは、2つの生活習慣（食生活、運動）である。</p> <p>本研究の総論的な目的は、Y00 が米国で開発した健康教育プログラムを、日本の文化に合わせて改善し、普及させることである。具体的な目的は、（1）この健康教育プログラムを担当するファシリテーター向けのマニュアルの作成とファシリテーターの養成、（2）この教育プログラムを実施して、経済学的評価を含む広義の評価を実施することである。</p> <p>対象：</p> <p>本学で 2022 年（1 月 31 日－2 月 10 日；90 分×15 回）に実施予定の講義(Health</p>

	Education Theater)の履修学生 (N=5-10 の予定)。
研究組織	ヘルスイノベーション研究科 教授 Y00 Byung Kwang 栄養学科 教授 田中和美 看護学科 教授 臺有桂 看護学科 准教授 中山直子 ヘルスイノベーション研究科 講師 根本裕太
個人情報の取扱い	インフォームド・コンセントは講義の全履修者から取得するが、調査への参加・回答は任意である。個人情報である「調査への回答」を匿名化する方法は、無記名かつ ID 番号 (研究者が個人をできないよう割り当てた Random 数字) のみを使用する。
その他	

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者： ヘルスイノベーション研究科 教授 Y00 BYUNG KWANG (ゆう へいきよう)

TEL : 044-589-8100 (代表) [内線 * * *]